

# 教育

## 私の師

「師」と言えば1969年、岡山大の学長代行だった故谷口澄夫さんが浮かぶ。一言で言えば「フェアネス（公平さ）」、意欲ある人に公平にチャンスを与える精神を教わった。それは私が創設した国際医療ボランティア

団体のAMDA（本部・岡山市北区）の活動に生きている。

69年当時、医学部5年生だった私は、学生の医学踏査隊をアジアに派遣するよう教授会に求めた。大阪大や日本医科大学を双へきに各地でみられた試みだったが、大学紛争のさなか、学生に不信感を抱く教授会の答えは「ノー」だった。

そこですぐあったのが学

長代行だった。谷口先生は広島高等師範学校出身で古武士のような人。教育学部の教授で陽明学を尊重し、知識と行いは

AMDA代表

菅波 茂さん



## 意欲にチャンスくれた

すがなみ・しげる 1946年、福山市神辺町生まれ。神辺小、神辺中、誠之館高を経て77年に岡山大学院医学研究科修了。81年に岡山市に内科医院を開業した。37歳だった84年、AMDAを設立。これまで約50カ国の被災地などで計約120回の緊急援助活動をした。2003年に吉川英治文化賞受賞。今年6月末、医療法人経営から退き、AMDAの活動に専念している。岡山市北区在住。63歳。

表裏一体でないといけないという知行合一の教えを地でいく人だった。

を聞いてくれ「将来の岡山に必要なこと。谷口澄夫個人ではんこを押さう」と言ってくれた。これを受けて71年にタイと

源流になった。

踏査隊を思いついたら2年生のころだった。友人を誘い、計7人で塾をして資金集めに励んだ。が、うち4人が2年

突然電話したにもかかわらず、自宅に招いて話を

「第1次岡山山大医学踏査隊」はAMDAの活動の

だ。

が、うち4人が2年

後に学生運動に加わり、  
ためていた資金を持ち去  
った。

私は大阪の染め物工場  
でお金を稼ぎ4年生のと  
き単身、アジアに渡った。  
10カ月間で12カ国を巡  
り、ピンクの注射をされ  
たり、救急病院で3時間  
待たされたり、いろんな  
医療事情を見た。もっと  
見てみたい。踏査隊実現  
への思いは増した。

あのととき、谷口先生は  
「電話できちんと名乗っ  
た学生は君が初めてだ。  
だから会った」と、書齋  
で3時間もいきさつを聞  
き、意欲をくんでくれた。  
能力はあるが、意欲の  
ない者に機会を与える必  
要はない。能力があるか  
分らないが、意欲のあ  
る人にはチャンスを与え

るべきだ。意欲とは、目  
標をいつから持ち、実現  
に向け何をしてきたか。  
谷口先生の振る舞いから  
学んだことだ。

第1次踏査隊以降、ア  
ジアでの医療活動を重ね  
る中、ある農村で腸閉塞  
の赤ちゃんが医療を受け  
られず苦しむ残酷なケー  
スを目の当たりにした。  
公平に機会を与えるフェ  
アネスの精神は、AMD  
Aに息づいている。

2006年、AMDA  
は、国連の「総合協議資  
格」の承認を受け、政策  
提言権を得た。岡山に息  
づく相互扶助の精神を、  
世界に発信している。「岡  
山のために」と送り出し  
てくれた恩師の思いにさ  
らに応えていきたい。

(聞き手は松本大典)